

HSK

会報「石川守る会」

No.44

石川県重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会
石川県支部 会長 山本 衛

今年も暖冬かと安心しておりましたが、やはり寒に入ってから雪も降り寒い日が続いています。会員の皆様方、お子様達はお変わりないでしょうか。集団風邪もはやってきているようです。健康管理には十分ご注意ください。

昨年は「障害児支援の見直しに関する検討会」が行われ、今年度はその報告を受けて児童福祉法の改訂が行われる予定です。

子ども達の命や生活が脅かされることのないよう見守っていききたいと思います。



楽しかったね！ 保護者研修会！

昨年10月26日県立医王養護学校の体育館をお借りして「保護者研修会」を開催しました。講師として石川県レクリエーション協会の玉鉾さんと松島さんをお招きして親子で楽しめるレクリエーション実技の研修をしました。

当日はまず一人一人の子ども達との挨拶から始まりました。メロディホンやタンバリンを使って関心を引き出しながらゆったりと名前を呼び、その子なりの応答を待ちながら一人一人が主人公となる場面を用意してくださいました。

その後、みんなで輪になって大小の風船送りをしたり、鈴のついた長いロープを順に送るゲームをしました。大きな風船を顔や頭で受け止めた人や、風船を捕まえてなかなか送ろうとしない人などそれぞれに楽しめたようです。

少し体を動かした後ダンボール箱いっぱいのポリ袋がみんなの輪の中に用意されました。みんなで天井に向かって放り投げると雪のようにハラハラと落ちてきました。ちょうどよいスピードで落ちてくる様子を楽しみました。何でもないポリ袋がちょっとした工夫ですてきな世界を醸し出してくれることに一同感激でした。その後大きなパラバルーンを揺らしたり回したりする中でみんな思い思いの姿勢で風や色の変化を楽しみました。

午後は幻想的なブラックシアターの世界をみんなでうっとりしながら堪能しました。お馴染みの歌も流れ大人も子どもも楽しめました。

最後に紙コップ、ポリ袋、ストローなど身近な材料を使った簡単な工作を教えてもらいました。みんな童心に返って思い思いの顔をポリ袋に描いて作りました。袋をコップに押し込み口をストローにセロテープでしっかり止めて息を吹き込むとコップの中から絵を描いた袋がふくらんでくると言う仕掛けです。



どれも簡単で身の回りにある物を使ってできる遊びを色々紹介していただき会場はとても和やかな雰囲気に包まれました。

今日は楽しい一日をありがとうございました。ブラックシアターや最後の工作がとても楽しかったです。家に帰ってもう一度遊びたいと思います。

最近は大勢の方とのレクリエーションの機会も少なく久しぶりに楽しい時を過ごすことができました。午前中は身体を使い、午後はパネルシアターと企画していただきお世話様でした。来年もできたらうれしいです。

今日は久しぶりに皆さんと一緒に楽しむことができ参加して本当によかったです。親子で楽しめるレクリエーションはいいです。また、みんなで楽しめる行事があればと思いました。

今日は「守る会」の方々や皆様のおかげで楽しい一日が子どもとともに過ごすことができありがとうございました。いつも子どもと一緒にいても楽しい思いもしてやれずにいたので今日は本当によかったです。

東海・北陸ブロック大会に参加しました



～11月15・16日 名古屋にて～

昨年11月15・16日に名古屋で開かれた第20回ブロック大会に山本会長夫妻、川場さん夫妻、田川さん夫妻、紺井さん、西田で参加してきました。

今年は名古屋ガーデンパレスホテルというすばらしい会場での開催でした。

基調講演は「旭川荘」理事長の末光茂先生が

「障害者自立支援法」を「希望の法に」一重症児を守る灯をたやさぬために—というテーマで講演されました。

制度改革の嵐の中で「重症心身障害児・者」という用語や「重症心身障害児施設・病棟」という概念がなくなるかもしれないという危機が語られました。

そんな中で「障害児支援の見直しに関する検討会」が開催され様々な議論がなされました。末光先生も委員として会員の皆さんの願いである「施設の必要性」と「児者一貫制度維持の必要性」を強く訴えられました。

次に重症児を守る3つの灯として①医療と福祉の一体的提供 ②児・者一貫体制 ③在宅重症児のための重症児通園と短期入所を挙げられました。

更に、今の時期に家族や施設関係者がなすべきこととして以下のことが大切であることを話されました。

①「既得権」の安住はやめる。

②「原点回帰」誰の助けもない状況下でどうするかを考える。

③現状への感謝と反省を忘れない。

④自己中心から望ましい社会参加へ

その後3つの分科会に分かれて討論がされました。

第1分科会 施設部会 施設・親の会の実態調査結果に基づいて意見交換

第2分科会 在宅部会 在宅会員のアンケートから短期入所や親の老齢化について意見交換

第3分科会 母親部会 部会の設立やその目指すものについて意見交換

夜は恒例の懇親会で楽しみました。

2日目は式典、意見発表、分科会のまとめが発表されました。

来年は静岡県であります。みなさん誘い合って参加しましょう。

参加すると他県の状況がきかれたり、中央の動きが分かったりとためになります。

また暖かい雰囲気でもできるのでぜひ1度ご参加ください。

「法人後見人立ち上げ」をめざして学習を始めましょう！

子ども達の将来が財産管理だけではなく、子ども達の様子を見て声をかけてあげることのできる身上監護を含めた本当に安心できる後見人をみんなで育てていきませんか。そのために成年後見人の勉強会を始めたいと思っています。

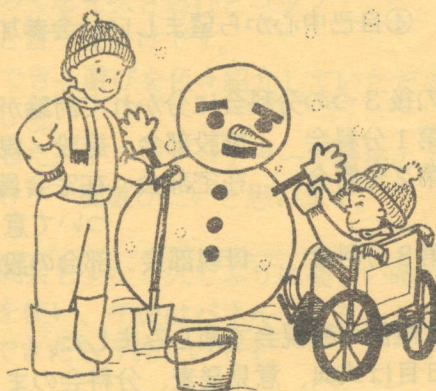
他県では支部が主体となってNPO法人として立ち上げたところもあります。親の老齢化が進む中で子ども達の将来を安心して託せる後見人を育てるためにどのような活動をすればよいのかみんなで学習してみませんか。

学習会の計画が具体化した時は多数の皆さんのご参加をお待ちしています。



- ・ 昨年9月に石川県障害者フェスティバルでバザーに参加しました。
当日は雨の降る肌寒い日でしたがたくさんの団体の参加がありました。
売り上げは39,948円でした。会の運営に使わせていただきたいと思います。
ます。参加された皆さんご苦労様でした。
- ・ 次の方々より「石川守る会」にご寄付ならびに賛助会費の納入がありました。
障害の重い子ども達のために有効に使わせていただきます。
ありがとうございました。
和泉美智枝様、寺島笑子様、田川大様、山本衛様、松坂明様

会員の現況	
新入会員	
賛助会員 表野さん	
正会員	81名
賛助会員	26名



計報 平成20年12月に「石川守る会」副会長松田好子様のご子息祐丞さんが亡くなりました。心よりご冥福をお祈り致します。

編集人:	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先:	〒929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 TEL (0761) 56-0610 会長 山本 衛
発行人:	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312番地
定 価:	30円